愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】幼児と身体表現		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

身体表現の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業の内容に応じてディスカッション及びグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	豊かな身体表現を育てるⅠ　豊かな身体表現とは何か	子どもにとっての「豊かな身体表現」とは何かについて理解する。	□
第2回	豊かな身体表現を育てるⅡ「豊かな身体表現」の概念	「豊かな身体表現」の概念について学習する。	□
第3回	身体表現の考え方Ⅰ　幼稚園教育要領・こども園教育・保育要領の考え方	幼稚園教育要領やこども園教育・保育要領における身体表現の考え方を理解する。	□
第4回	身体表現の考え方Ⅱ　発達過程で見られる身体表現の様子	発達過程で見られる身体表現の様子について学習する。	□
第5回	子どもたちと身体表現Ⅰ　0～1歳児の身体表現指導と留意点	0～1歳児の身体表現指導と留意点について学習し指導実践する。	□
第6回	子どもたちと身体表現Ⅱ　2～3歳児の身体表現指導と留意点	2～3歳児の身体表現指導と留意点について学習し指導実践する。	□
第7回	子どもたちと身体表現Ⅲ　4～5歳児の身体表現指導と留意点	4～5歳児の身体表現指導と留意点について学習し指導実践する。	□
第8回	本講義のまとめ	本講義内容全体のまとめを行う。	□
第9回			□
第10回			□
第11回			□
第12回			□
第13回			□
第14回			□
第15回			□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、各回の講義内容について教科書を中心に調べること(2時間程度)。 事後学習としては、講義の内容を振り返り実践したものについては反復練習すること(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題に対するレポートについては、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つことで理解を深める。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	身体表現における基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の感性を豊かにする身体表現を理解することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	幼児の身体表現の姿やその発達を理解することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で学習した表現遊びのスキルテスト、また授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「保育表現技術」（古市久子著、ミネルヴァ書房）	978-4-623-06569-1
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「幼稚園教育要領」（平成29年3月告示，文部科学省）	
2	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示，内閣府・文部科学省・厚生労働省）	
3	授業時に適宜紹介する	
4		
5		